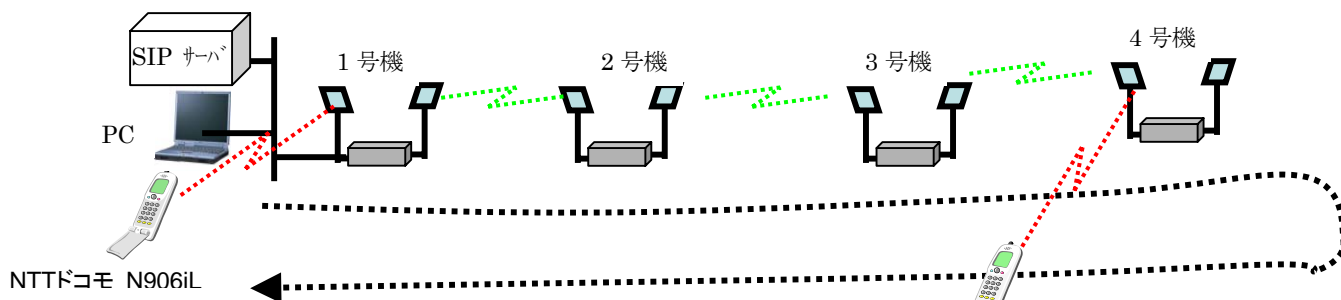


1. 実験1： NTTドコモ N906iL を使った移動ローミング通信検証

1.1. 概要

- 屋内 廊下 40m間隔で4台のRMR9000を設置
- 2台のN906iL間でVoIP通話を開始
- 続いて、通話を継続しながら一台のN906iLを持って廊下を歩行移動
- この状態で、PC（下図参照）から歩行移動中のN906iLへpingを送信し経路ならびに応答時間などを測定

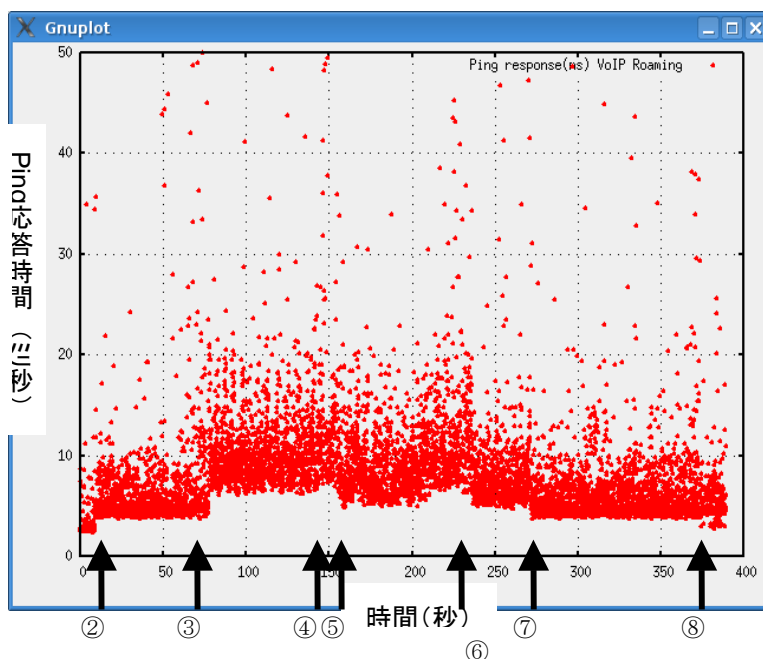


1.2. 結果

- 移動開始からの時刻における通信状態

番号	時刻	経路 (PCからp(携帯電話)への経路)	不通時間
①	0	1号機→P	
②	9	1号機→2号機→P	50~100ミリ秒
③	77	1号機→2号機→3号機→4号機→P	50~100ミリ秒
④	150	1号機→2号機→4号機→P	50ミリ秒以下
⑤	165	1号機→2号機→3号機→4号機→P	50ミリ秒以下
⑥	235	1号機→2号機→3号機→P	50~100ミリ秒
⑦	270	1号機→2号機→P	50~100ミリ秒
⑧	370	1号機→P	50ミリ秒以下

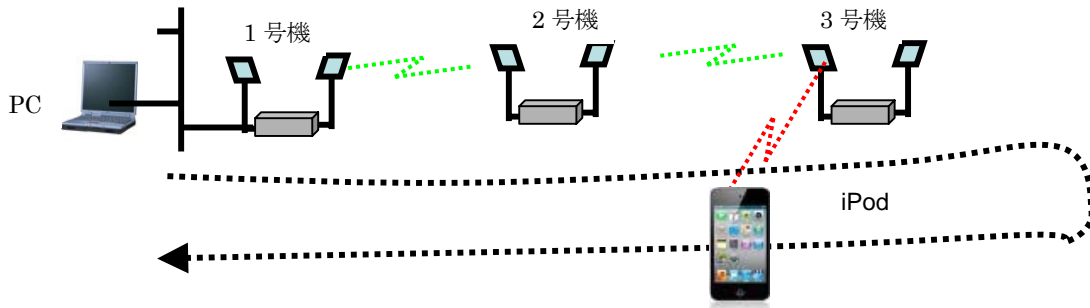
- 各時刻におけるping応答時間



2. 実験2： iPod を用いた移動ローミング通信検証

2.1. 概要

- 屋内 廊下 40m間隔で3台のRMR600を設置
- PCとiPodの間でpingを送信し経路ならびに応答時間などを測定
- この状態でiPodを持って廊下を歩行移動

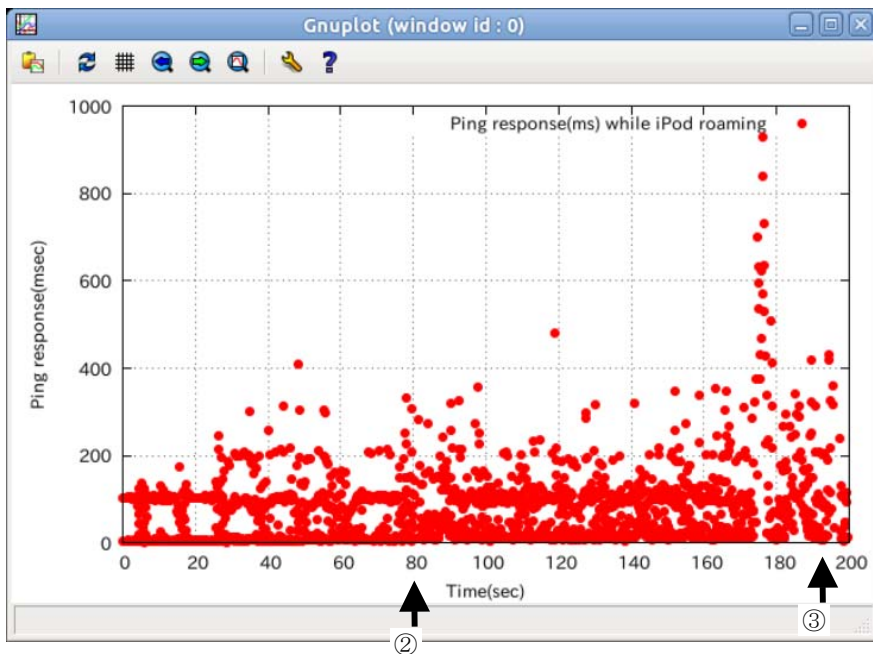


2.2. 結果

- 移動開始からの時刻における通信状態

番号	時刻	経路 (PCからp(携帯電話)への経路)	不通時間	端末位置
①	0	1号機→P		1号機近く
②	82	1号機→2号機→3号機→P	900ミリ秒	2号機と3号機の間
③	196	1号機→P	1500ミリ秒	1号機横

- 各時刻におけるping応答時間



註：iPod、iPad、iPhoneなどのApple端末は、一般のAPとの通信においてもping応答時間は～100ミリ秒と遅延が大きい。(省電力化のための仕様と考えられる)